

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和04年06月16日(木)

事務事業		消防活動事務		担当課	深谷消防課	担当係	深谷消防署	管理番号	4522
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり	根拠法令 個別計画等	・消防法      ・消防組織法 ・消防力の整備指針 ・深谷市消防本部警防規程				
	小項目	2	消防・救急体制の充実						
	主要プロジェクト	0	(未使用)						
事業概要		複雑多様化する各種災害に対して、消防職員の訓練、研修等を実施し技術、知識の向上を図る。 各種資器材の点検、整備により、消防活動に必要な資器材を常時使用可能な態勢に整え迅速、的確な消防活動を遂行する。							
目的 ※何のために		住民の生命、身体及び財産を各種災害から保護するとともに、被害の軽減を図る。							
対象 ※誰・何を対象に		住民の生命、身体及び財産。							
手段 ※どのように		複雑多様化する災害に対応するため、訓練、研修等を実施するとともに、資器材の点検、整備を行い災害等による被害の軽減を図る。							
成果 ※何を求めるか		業務の総合的な強化、充実を図り、迅速に各種災害活動を行い損害を最小限に留め、住民の生命、身体及び財産を守る。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他(                      )							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・水火災の災害対応業務				・事業所等の消防訓練指導			
		・消防訓練の立案、調整、実施に関する業務				・各種報告書、統計及び即報の作成事務			
		・警防調査及び水利の点検に関する業務				・			
		・消防資器材の維持管理業務				・			
		・火災原因及び損害の調査				・			
		・り災証明発行事務				・			

## 2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	人件費相当試算※	777,900	778,200	786,100	813,600	776,192	813,135
総事業費試算		777,900	778,200	786,100	813,600	776,192	813,135

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	火災出場件数（暦年）		目標値	件						
			実績値		64	34	42	26	24	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			火災出場件数であり、目標値の設定に値しない。/出場件数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	訓練・研修回数		目標値	回	22	44	44	44	44	44
			実績値		22	43	44	44	43	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年間訓練計画に基づく目標値とする。 / 実施回数						
	実績値の算出式									
活動指標 3	資器材点検実施率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			100%の資器材点検を目標とする。 / 実施日／365日×100						
	実績値の算出式									
成果指標 1	資器材常時使用可能率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			車載されている全資器材の常時使用可能率。 / 使用可能数／全資器材×100						
	実績値の算出式									
成果指標 2	火災による死傷者数（暦年）		目標値	人						
			実績値		7	7	6	6	9	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			火災死傷者数であり、目標値の設定には値しない。 / 火災による年間死傷者数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	火災1件当たりの焼損棟数（暦年）		目標値	棟	1.49	1.59	1.59	1.59	1.59	1.59
			実績値		1.71	1.42	1.26	1.16	1.42	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			前年の埼玉県の数値とし、より現実的な目標とした。（平成29年数値） / 年間焼損棟数合計／年間建物火災						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	火災出場件数は年々減少しており、訓練・研修もコロナ禍でありながら工夫をしてほぼ予定通り実施できた。資器材点検は、日々管理し点検することで災害や訓練に支障なく使用することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	資器材の点検を毎日実施することで、災害時に問題なく使用できている。年々火災出場件数は減少傾向にあるが、死傷者及び延焼棟数の数値が若干増加している。しかし、活動は適切に行っており、目標値は達成している。
			評価者 消防係長 佐々木勝・小池喬

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	火災活動時ウェアラブルカメラを活用し、撮った映像を事後検証に使っている。今後はリモート会議や研修を効率的に行い、署所間の連携強化を図る。
			評価者 消防係長 佐々木勝・小池喬

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	深谷式消防戦術を運用し、「出場から放水開始まで」の時間を令和4年度の目標値である6分30秒（まちづくり指標値からそれぞれ年度ごとに目標を設定）を目指す。そのために、災害現場までの適切なルート選定が行えるよう地利の把握に努め、出場から放水開始までの時間短縮を図る。さらに、迅速なホース延長及び早期放水体形を構築するための訓練を通して、火災による被害の軽減を図る。
達成状況及び その効果	深谷式消防戦術を運用することで、6分30秒の目標値を達成しており、過去3年平均（平成30年から令和2年）でも6分17秒と達成することができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	消防活動事務	担当課	深谷消防課	担当係	深谷消防署	管理番号	4522
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>深谷式消防戦術を運用し、目標値の6分30秒以内を達成できている。これを継続しつつ、延焼防止や水損、汚損等を減らすことを目的とする。目的達成に向けて訓練を継続し、住民が安全安心に生活できるよう、火災による被害の軽減を図っていく。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	深谷消防課長 鴻野 匡志				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	現在の深谷式消防戦術を継続し、目標値の6分30秒以内を維持するため、放水時間の短縮を行う。今年度は水利点検時に、道路の狭隘箇所を確認したり、道路工事等で届出のあった通行止めなどの場所を把握することで、災害出場時のルートを適切に管理し現場到着までの時間短縮を図る。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	令和4年度同様に深谷式消防戦術を継続し、目標値の6分30秒以内を維持する。水利点検時に道路の狭隘箇所や通行止めなど場所を把握し、現場到着までの時間短縮を図る。

8. 評価指標グラフ

